

中国海警総隊東海海区の動向



魚釣島周辺で接近する中国海警局の船（中央奥）と海上保安庁の巡視船（手前の2隻） = 2024.4.27、尖閣諸島沖
（資料源：時事通信20240428）

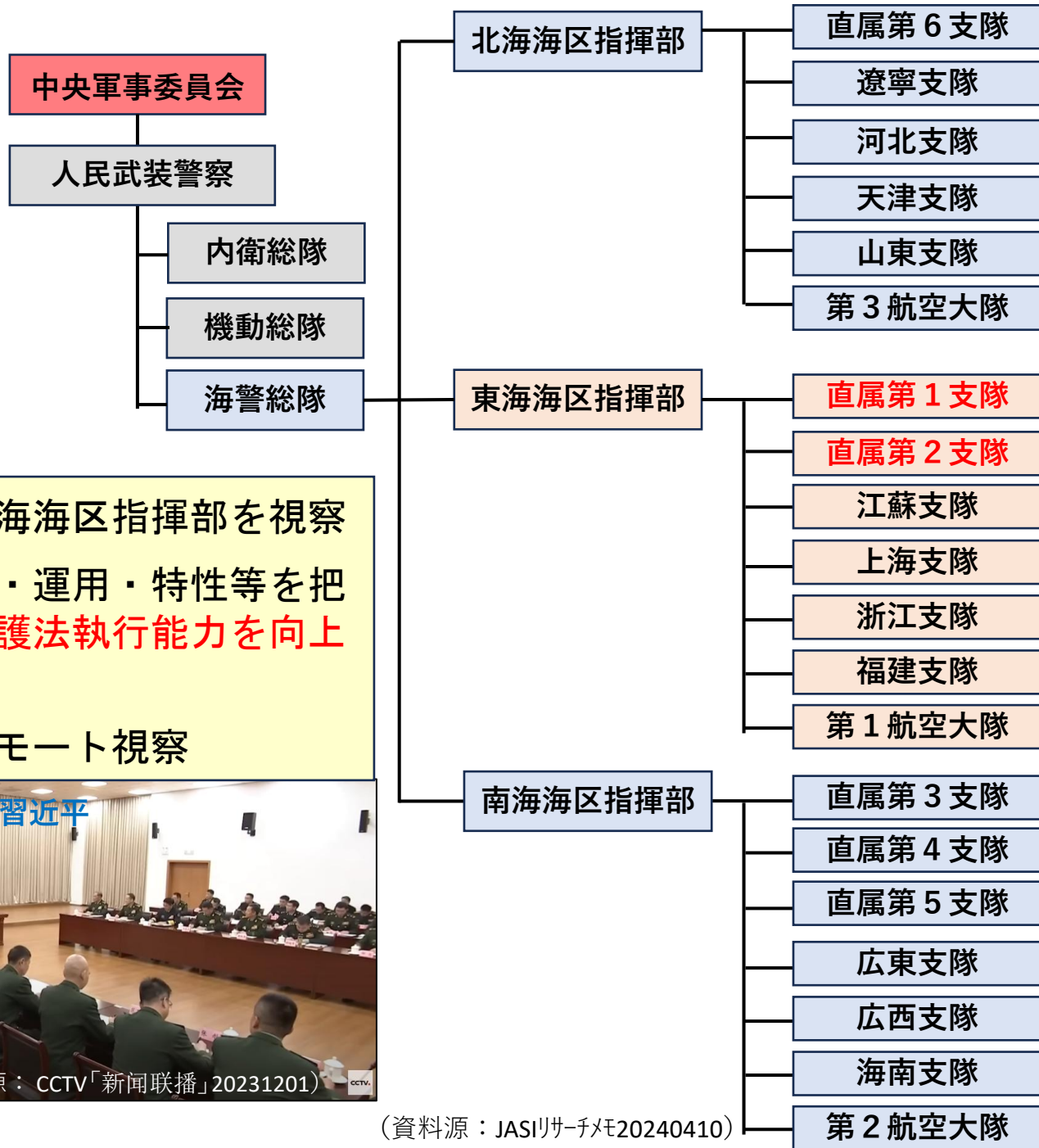
2024. 7. 26

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

目 次

- 1 習近平中央軍委主席の東海海区視察
- 2 尖閣諸島周辺海域での海警の活動状況
- 3 尖閣編隊拠点の整備状況
- 4 評 価

習中央軍委主席
の東海海区視察



尖閣担当支隊

- 2023年11/29、東海海区指揮部を視察
- 「海警部隊の整備・運用・特性等を把握し、海上権益保護法執行能力を向上させよ」と指示
- 海警2コ編隊をリモート視察

重要講話をする習近平



(資料源：CCTV「新聞联播」20231201)

(資料源：JASIサーチメモ20240410)

リモート視察①：東シナ海編隊

2901編隊が「11/22から上番し、東シナ海で護衛任務等を実施中」と報告
⇒ 習近平視察時点（11/29）で海上での護衛任務は1週間目

リモート視察の画面

(資料源：CCTV「新聞联播」20231201)

「海警2901編隊指揮所」

中国が日中中間線西側ガス田に建設したリグを画面に放映

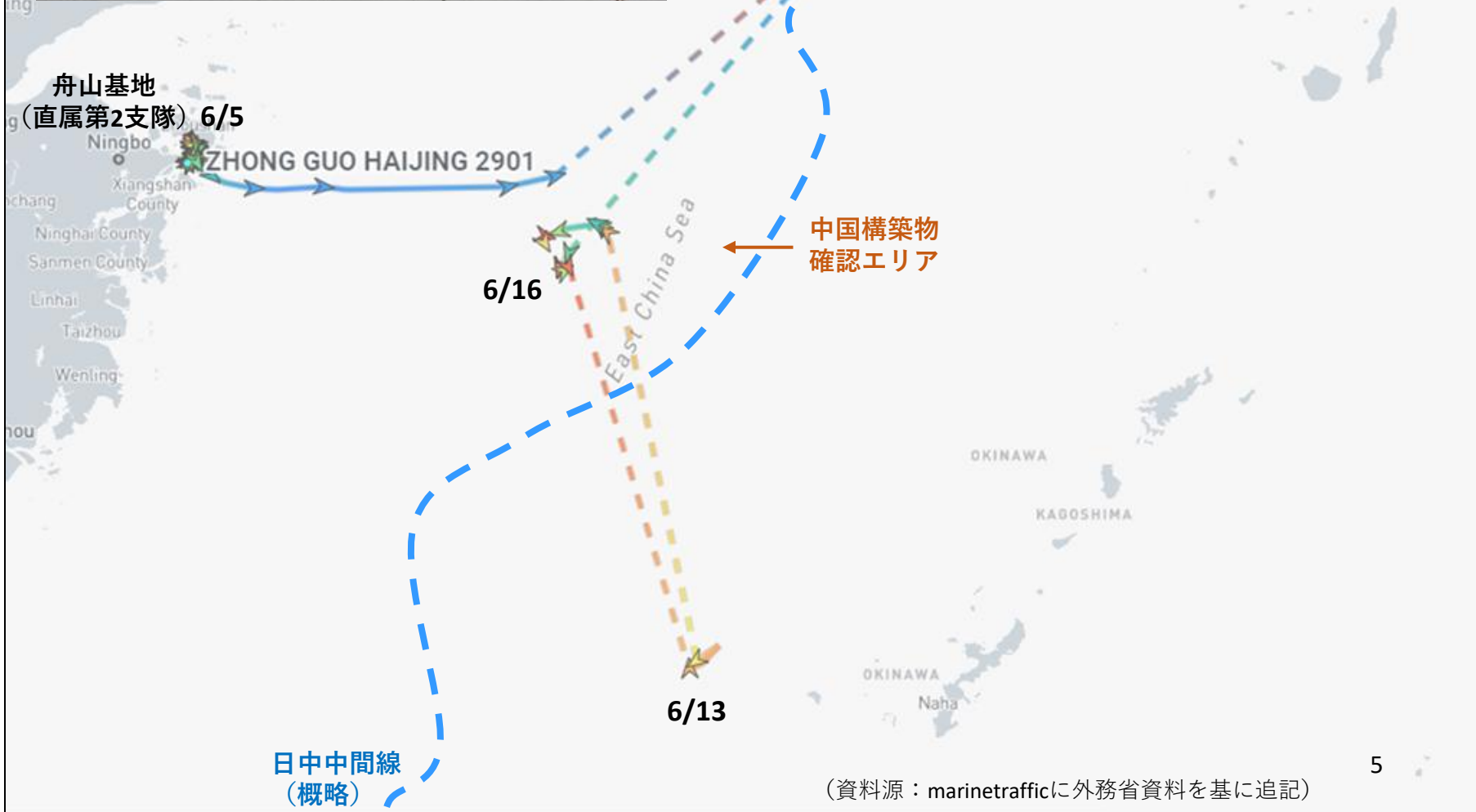
参考：
中国構築物



- 画面及び報告内容から、中国が一方的な開発を進めているガス田を護衛する任務編隊が既に編成されて海上で活動している可能性大
- 日中中間線付近でも海警編隊によるプレゼンスを常態化

海警2901 : 5/22~6/16の航跡

中国海警局最大の法執行船2901 (1.2万t)



(資料源 : marinetrafficに外務省資料を基に追記)

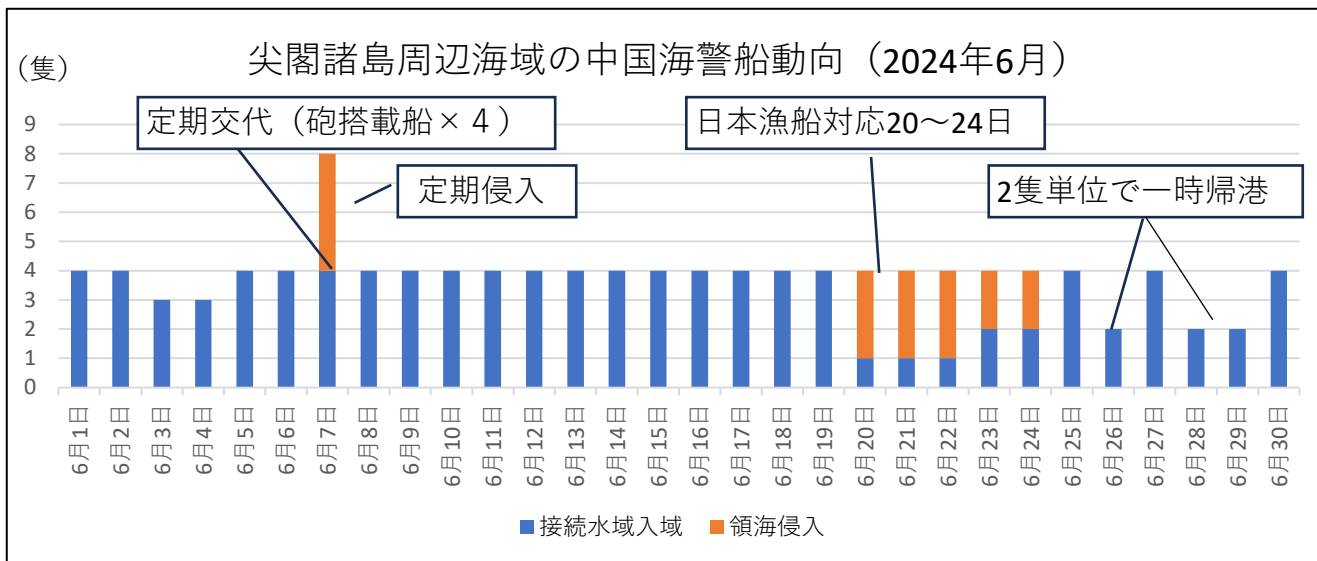
リモート視察②：尖閣編隊

- 海警1301編隊から報告受け（画面のみで報告内容は報道されず）
⇒ 当時の尖閣上番編隊は、海警1301・1302・1103・1303

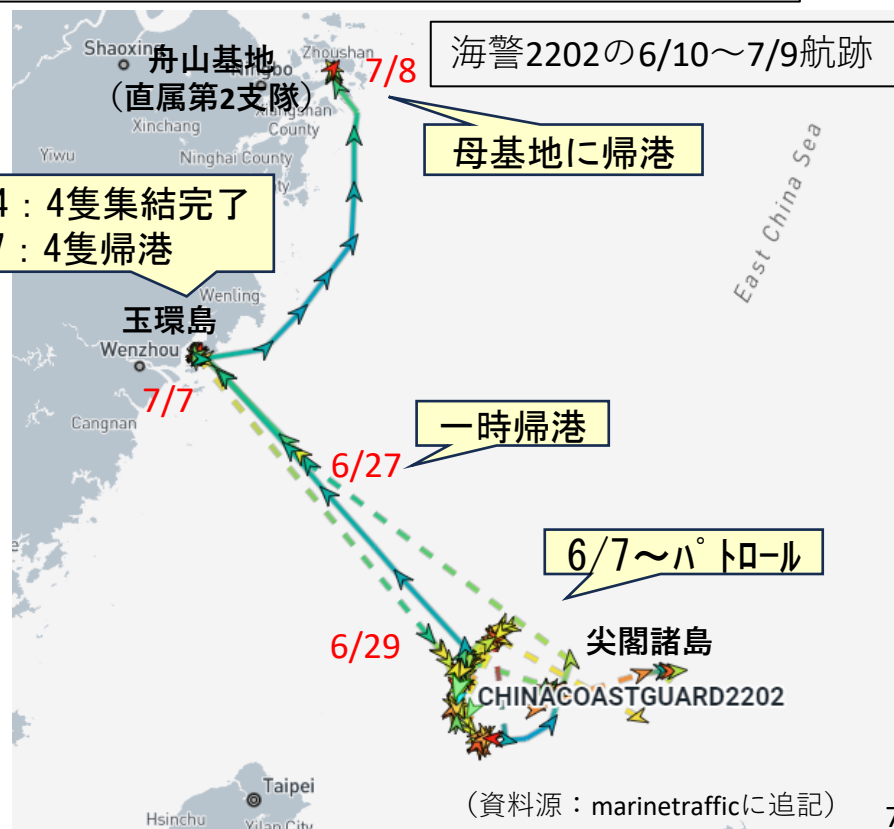


- 日中中間線及び尖閣周辺海域で任務に従事する2コ編隊をリモート視察
⇒ 海警東海海区に対する**能力向上指示の主対象は日本**であり、
日本に譲歩しないという強い**決意を内外に示した可能性あり**

尖閣周辺での海警の活動状況



海警2202

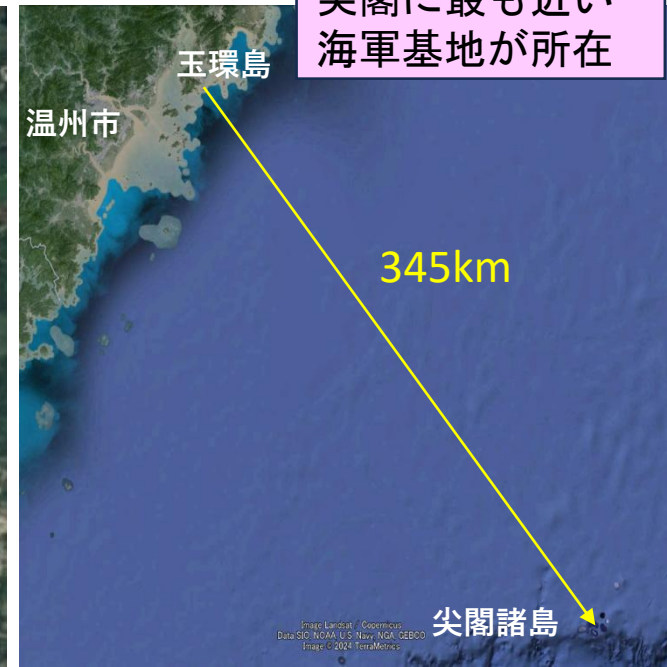


玉環島

- 編隊上下番時に集結
 - 上番期間、補給整備のために帰港
- ⇒ 尖閣編隊根拠地の可能性大

(資料源：marinetrafficに追記)

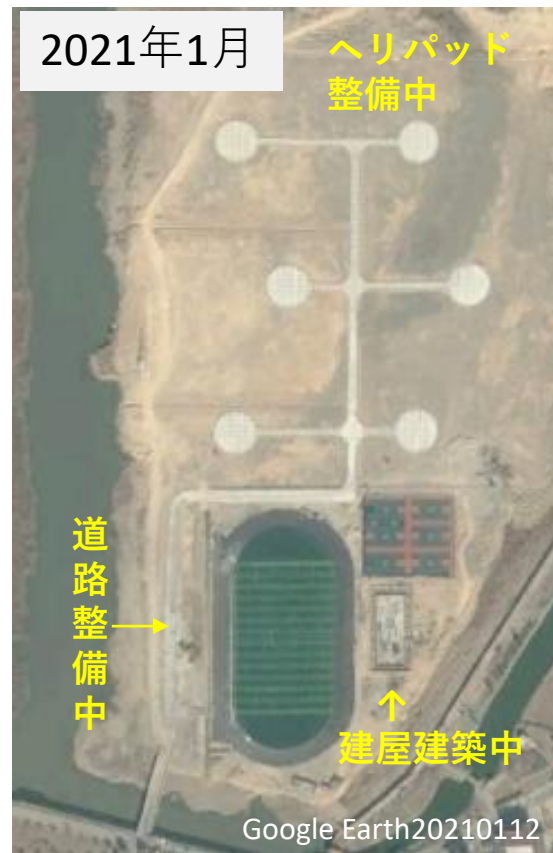
玉環島の状況



東部戦区海軍玉環基地

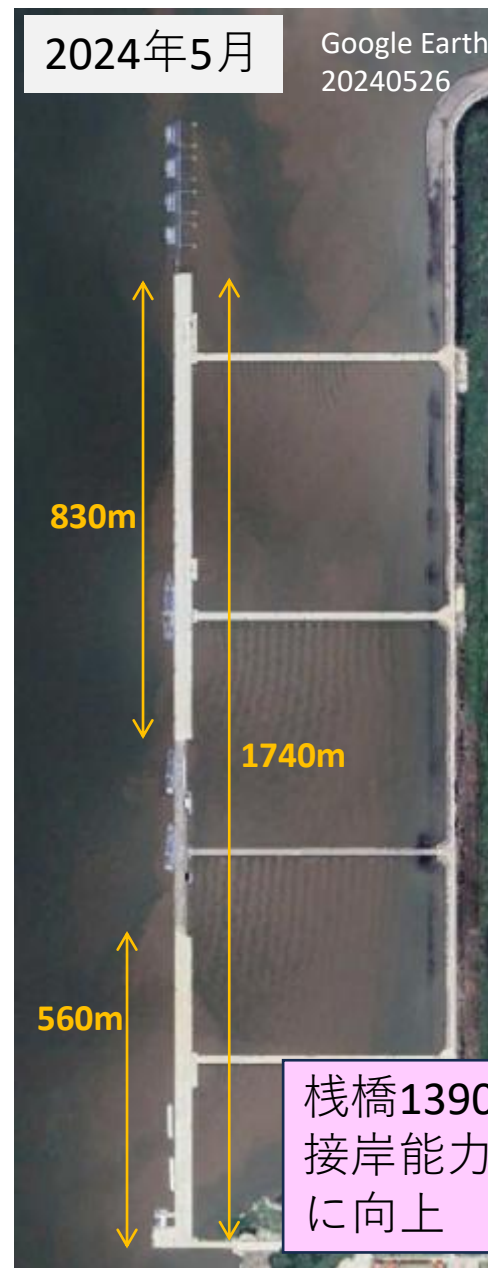
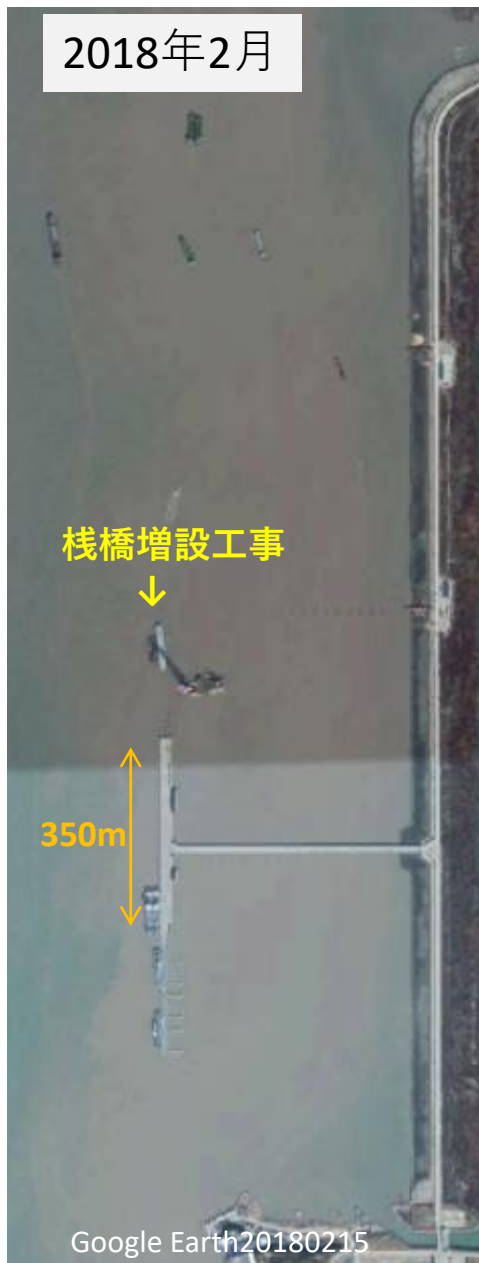


東部戦区海軍玉環基地の整備：ヘリパッド



- 2020年頃から艦載用ヘリパッド整備の可能性有
- 2021年工事完了。ヘリは未確認だが、艦載ヘリの駐機が可能

東部戦区海軍玉環基地の整備：棧橋

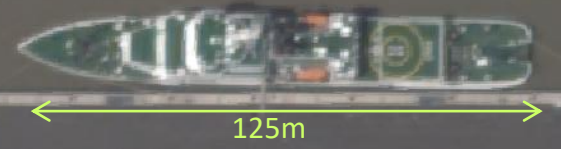


東部戦区海軍玉環基地の整備：棧橋利用状況

2022年10月



海警船（5000t級推定）× 1



海警船(1000t級推定) × 1



車両積載用施設（工事中）



Yudeng級揚陸艦 × 4

Yuting/Yukan級揚陸艦 × 6

(C)[2022]Maxar Technologies

300m

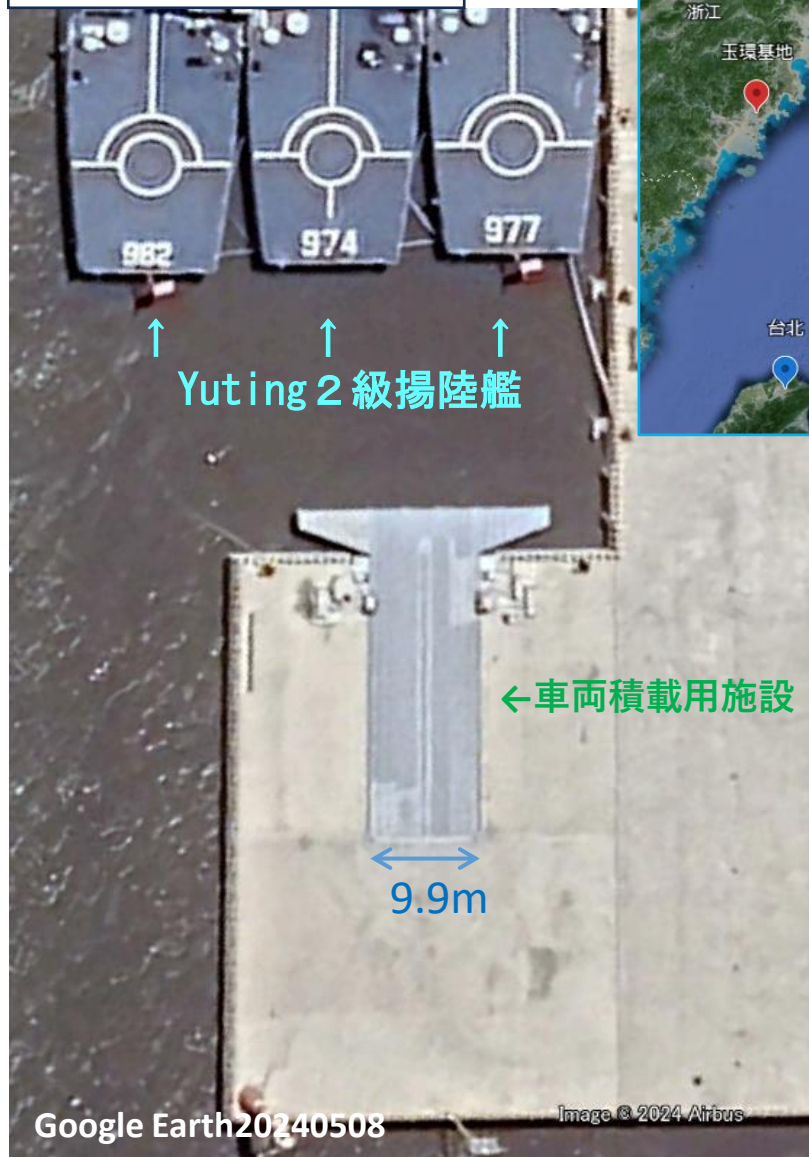
- 5000t級の大型海警船が棧橋利用しており、**尖閣編隊海警船の大型化が可能**
- 接岸中の揚陸艦で装甲車約80両、1コ水陸合成大隊(+)輸送可能
(Yudeng級1隻：6～7両、Yuting/Yukan級1隻：10～11両で計算)
- 強襲揚陸艦（Yushen級）の接岸は未確認だが、接岸できれば玉環基地から水陸合成1コ旅団の輸送が可能となり、**迅速な着上陸侵攻輸送能力が向上**

東部戦区海軍玉環基地の整備：棧橋付帯施設

玉環海軍基地



上海浦東海軍基地



東部海区海警基地（可能性）



Google Earth20240526

200m

海警船

48m

武装障害走訓練場（推定）

100m

30m

特殊作戦隊員を訓練する
訓練場と類似の施設保有

参考：海軍陸戦隊特殊作戦旅団駐屯地（海南島）

215m

18m

Google Earth20221028

海警の中でも臨検等担当する特警部隊が駐屯・訓練している可能性あり

東部海区海警基地の整備

2018年2月

108m
57m
59m
↑
海警船

整地作業

↑
海警船

Google Earth20180215

2022年9月

訓練施設等新設

武装障害走
訓練場新設

栈橋工事中

施設工事中→

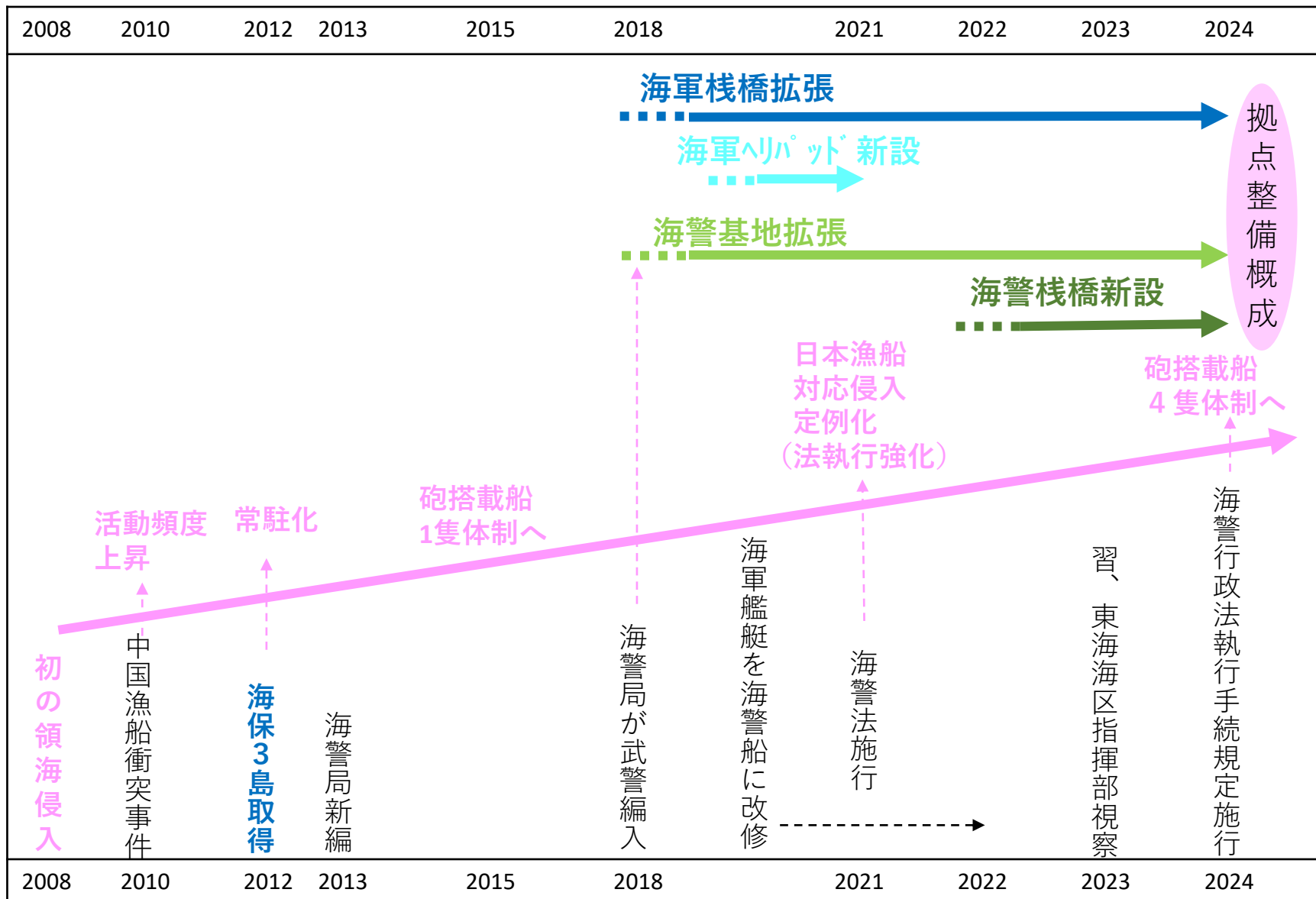
車庫・倉庫
新設→

241m

栈橋倍增⇒大型船接岸
施設増築⇒海警部隊増強

Google Earth20220910

玉環島整備と尖閣対応



- 1 海警東海海区の戦力投射方向
2023年の習中央軍委主席の指示により、対日対応を重視
- 2 尖閣編隊による玉環島の活用
 - 尖閣に最近接の基地として補給整備に活用、大型船・ヘリの運用も可能
 - 臨検等を担当する特警部隊が駐屯しており、玉環島で尖閣編隊の船舶に乗下船している可能性あり
そうだとすれば、第1・2支隊関係なく、常に尖閣専用に訓練された部隊が乗船し、臨検拿捕等に対応する準備をしている可能性あり
 - 隣接の海軍基地を活用し、東シナ海に展開する海軍艦艇と調整・連携できる可能あり

7月22日の玉環島海警基地 (Google EarthにmarinetrafficのAIS情報を重ねたもの)

Google Earth20240526

(資料源：marinetraffic20240722に追記)

海警2101 (6/28~7/16, 7/19~22)

海警2102 (6/28~7/22)

海警2103 (7/7下番以降~22)

海警2501 (7/7下番以降~22)

注：7/23に4隻とも舟山基地に帰港。台風3号の影響かは不明

- 6月上番2隻が下番後も母港に帰港せず。更に2隻が上番時期に関係なく集結
- 直属2支隊4隻が上番中の1支隊4隻を増援できる待機態勢を維持していた可能性

1 海警東海海区の戦力投射方向

2023年の習中央軍委主席の指示により、**対日対応を重視**

2 尖閣編隊による玉環島の活用

- 尖閣に最近接の基地として補給整備に活用、**大型船・ヘリの運用も可能**
- 臨検等を担当する特殊部隊が駐屯しており、玉環島で尖閣編隊の船舶に乗下船している可能性あり
そうだとすれば、第1・2支隊関係なく、**常に尖閣専用に訓練された部隊**が乗船し、臨検拿捕等に対応する準備をしている可能性あり
- 隣接の海軍基地を活用し、**東シナ海に展開する海軍艦艇と調整・連携**できる可能あり

日本漁船に対応した領海侵入に関する海警局報道官談話20240711

「日本側が当該海域での一切の違法行動を直ちに停止することを促す。さもなければ**中国はあらゆる対抗措置を執る権利を有する**」

⇒これまでの「**類似事案の再発を防止するよう促す**」の表現から「**対抗措置を執る**」に言及した発言に変化

- 東海海区は尖閣で、エスカレーションラダーをあげる**能力上の準備は完了**
- 日側に**責任転嫁できる口実**が得られ、**台湾への戦力配分・海保への対応等、戦略上可能**と判断すれば日本漁船への臨検などラダーをあげる可能性あり